

第72回全国植樹祭滋賀県準備委員会 第4回会議 議事概要

■日 時：平成30年3月1日(木) 10:00～11:30

■場 所：県庁新館7階大会議室（大津市京町四丁目1番1号）

■出席者：別紙出席者名簿のとおり

■議事内容

○基本構想（案）は、概ね原案どおり全会一致で承認された。

○開催候補地は、「鹿深夢の森」（甲賀市）とすることで全会一致で決定された。

1 開会あいさつ

高橋委員長よりあいさつ。

2 議事

（1）基本構想（案）について【資料1（別紙1）、資料1】

事務局より、【資料1（別紙1）】基本構想（素案）に対する委員からの意見とその対応について、【資料1】基本構想（案）について説明。

【質疑応答】

委 員：障害者の「害」の字は平仮名の方が良いのではないかと。県として何か統一した見解はあるのか。

事務局：県の計画等では「障害」と漢字で表記しているため、今回はそれに倣っている。担当課に確認したところ、他の自治体等では委員の言われるような平仮名で表記する事例もあるとのこと。

委 員：優しいのは平仮名の方かと思う。

委員長：基本構想の位置づけとして、県が作る文章なのでなるべく揃えたいということか。

事務局：県の計画は漢字表記だが、この基本構想は準備委員会の皆さんに作ってもらうものなので、平仮名の方が良いと言われるなら対応できる。

委員長：言ってしまうと、ここで決めたらどちらでも良いということ。

委 員：障がいを持つ方がどう受け止められるかと思うと、わかりやすく和やかな字で書いた方が、障がいを持っておられる御本人にとっても良いのかと思う。できたら、今おっしゃったようにわかりやすく書いていただいた方が良いという感じがする。

委員長：たまたま県立大学に今年度から「障がい学生支援室」というのができて、平仮名の「がい」になっていて、こういうこともあるのかと思ってみたり、先日、長浜市役所に行ったら、「しょうがい」と全部平仮名になっていたりして、こういう表記もあるんだと思っていたところ。この委員会で独自に決めて良いということなので、障害の「害」は平仮名で書くことに決めてよろしいか。

〔了承〕

事務局：そのように修正する。

委員長：西野委員に何うが、「琵琶湖の固有種は65種」というのは、小さいのも含めるともっ

とたくさんいると思うが、これで良いか。

委員：固有種の数、研究が進むと今後増えていく可能性がある。固有種の定義は琵琶湖以外で見つかっていない種のこと、現在100種くらいが知られているが、研究の進んでいない水生昆虫などは琵琶湖以外での調査が不十分のため、文献上確実に確認できている固有種の数65種ということ。現実には100種以上いると思うが、十分確認できていない。

委員長：微生物も含めたら、もっとたくさんいるのではないかと思ったので確認した。

委員長：基本構想に関しては最後になるので、他に御意見はないか。それでは、この基本構想は障害の「害」の字を平仮名に変えるということにして、あとは御承認いただいでよろしいか。

[拍手多数により承認]

委員長：なお、開催候補地の記載はこのあと決まってから私の方で最終確認させていただく。

(2) 開催候補地の選定について【資料2-1、2-2、2-3】

事務局より、【資料2-1、2-2】開催候補地選定個別評価表および、【資料2-3】開催候補地選定総合評価表について説明。

委員長：前回の委員会で別の委員が言われたので繰り返しの質問になるが、宿泊場所からの距離について、場所的に私のイメージでは遠く感じる場所もあるが、実質的に宿泊場所からの移動時間については、11候補全部問題ないと考えて良いのか。

事務局：宿泊場所は、候補地が決まったら具体的に考えていくことになるが、11いずれの候補地になっても、それぞれのエリアで可能と判断して進めている。

委員：1点確認だが、先に承認された基本構想では開催時期が明記されており、「春季」という表記がある。「春季」と言えば4月、5月、6月だろうと思うが、第1回目の委員会でもワールドマスターズゲームズと重なる問題があるとの意見があったと承知している。「Ⅲ その他参考となる事項」の「行事状況」で、例えば湖南省では夏の分が記載されており、「期間の重複」とあるが、具体的に重複する部分があるのか。同様に希望が丘（芝生ランド）も大会そのものが春季にあるのか、どのような制約や影響があるのかまで記載されていないので、そのあたりの状況を教えて欲しい。加えて、そのことが評価につながっているのかどうか併せて伺いたい。

事務局：利用期間については、資料2-1の「土地利用に関する制約」に詳細を記載している。準備は、芝生の養生やお野立所の建設などのため半年くらい前から、また、終わってから片付けてお返しするのに8月までを利用期間としている。湖南省の場合、8月に大会があり片付けで重複する可能性がある。「△」になっているのは河川区域であるからであり、期間の点だけなら「○」である。東近江市のひばり公園は5月にワールドマスターズゲームズが開催され、植樹祭の開催を外す前提だが、春季のコアな期間にリハーサルなどもあるので「制約あり」として「△」。希望が丘もサッカー大会等が準備期間にかかるため「若干制約あり」の「○」としている。

委員：資料2-2は前回に議論されたと聞いているが、陶芸の森と希望が丘文化公園の県営3施設について、特に竜王町の「地元の意見」が「決定した場合は協力について検討」と他に比べて消極的というニュアンスが違うように思う。ここは県からのエントリーという理解で良いか。また、地元市町の協力というのは相当な負担になるのか、必要な動員はどの程度になるのか、市町により財政規模が異なるので、地

元竜王町としては「検討する」ということなのか、そのあたりの状況を伺いたい。

事務局：県の施設で開催することになった場合、地元市町にはたちまち実行委員会のメンバーに入ってもらう等の協力をいただくことになる。開催にあたっては「協力させていただきます」というお返事をいただいている前提であるが、まだ候補地に決まっていなくても、植樹やおもてなし等のイベントについて、具体的にはっきりしたことが言えないという意味である。「竜王町でやることになったらしっかり協力させてもらう」と言っているかと理解している。

委員：「会場整備に要する経費」の1,300万円と2,600万円の差は、補修が1,300万円で新設だと2,600万円だと思うが、補修でも新設でも状況によってコストは変わってくると思われる。そのあたりの検討はしていないということで良いか。

事務局：補修は新設の半分という設定である。現実には候補地に決まって、例えば補修にそれだけかけずに済むことになるかもしれないが、開催候補地を決める上で候補地ごとの一定の条件として提示している。

委員：了解した。それと「ほぼ不要」という表現は、県も市町も財政難の折に、1,300万円かからないかもしれないが経費がかかることは間違いない訳で、経費は安い、高い、中ぐらいなのかという比較であり、「ほぼ不要」という表現はふさわしくない感じがする。「低」とか「中」で良く、表現的にどうかと思う。

委員長：確かに多少上下があっても、1,300万円のお金がかかることは間違いない。「◎を低」「○を中」「△を高」と読み替えていただくということで良いか。これから議論いただく上で、「◎」だからお金がかからないんだと思わないでいただくようお願いする。

委員長：只今、資料2-1、資料2-2で11候補地については理解いただいたということで、次に資料2-3を御覧いただきたい。事務局からは4候補地に絞って議論してはどうかという提案があった。「Ⅱ. 植樹祭の会場としての適性」が「◎」と「○」の4つの候補地で更に議論を進めることで良いか。

[了承]

委員長：それでは4候補地で議論を進めていきたい。

委員：1つは「鹿深」というのは地名なのか。この名称は素晴らしいと思うが、由来を教えてください。2つめは、既に公園になっていて図書館などの建物があったと思うが、それは植樹祭が終わったあと、どうするのか。

事務局：もともとこの地域が鹿深と呼ばれていて、それが「甲賀」につながったものである。また、周辺の既存施設は植樹祭のあともそのまま残され、活用されていくと聞いている。

委員長：希望が丘の2候補地について、「森林・林業」との関わりは、野洲市とか竜王町には特にならないのか。

事務局：地域的には生産森林組合などもあるが、施設は文化公園であり、本来の使用目的があるので控えめな書き方になっている。

委員：資料2-2甲賀市の「その他」の項目で、「紫香楽宮跡が発掘されており」とあるが、もしここに決まれば、この位置づけは式典との関わりにおいて具体的に意識することになるのか。

事務局：甲賀市から強調されていたが、植樹祭に直接関わるものではなく、アピールポイントとして記載させていただいた。

委員：ここに決まった場合、意識的に行幸啓との関係が出てくるのではないかと。そこを考

えて、式典だけで終わるのではなく、紫香楽宮を活かすことも考えないといけないと思う。

事務局：植樹祭の中で地域をアピールできる部分でもあり、これからストーリーを考えていく中で、当然、歴史的なものも加味してアピールしていきたい。

委員長：魅力的な会場を各地からたくさん出していただき、アピールしていただいた。甲乙付けがたい部分もあるが、純粹に行事をしていくという点で見れば、「Ⅱ 植樹祭の会場としての適性」で「◎」は「鹿深夢の森」1箇所である。この点から見て開催候補地は「鹿深夢の森」にしてはいかがかと思う。御承認いただける方は拍手をお願いします。

[拍手多数：承認]

委員長：拍手多数により、開催候補地は「鹿深夢の森」とする。事務局には、開催候補地に「鹿深夢の森」と記載いただき、私の方で最終確認したい。

(3) おわりに

委員長：本日の議事は全て終了した。予定どおり年度内に、開催候補地の選定、基本構想の策定ができた。基本構想の字句修正等の最終確認は委員長である私の方で行い、年度末までに公表する。開催候補地も11箇所もの魅力あるところを提案いただいた。式典会場の候補地は今回、1箇所に決定したが、今回の調査で様々な魅力が整理されたので、次年度以降の実行委委員会で検討される植樹会場やサテライト会場、林業後継者大会等のイベントの候補地として申し送りいただければ幸いである。

3 閉会

琵琶湖環境部 石河次長よりあいさつ。

事務局：準備委員会についてはこれで最終となるが、設置要綱【参考7】第7条の規定により、「準備委員会は、第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会（仮称）が設立されたときは、その業務を実行委員会に引き継ぎ解散する。」とされているので、同実行委員会の設立をもって解散とさせていただきます。